



ばとんぱす



教職員等記章
(平成15年4月導入)

発行年月 : 令和5年(2023年)3月
編集・発行 : 熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609 熊本県中央区水前寺6丁目18番1号
Tel : 096(333)2699
Mail : kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰受賞者決定

リニューアルして初めての表彰です！

県教育委員会では、誰かのために、地域社会のために、ひたむきに頑張っている子供たちを励まし、熊本を笑顔にする子供たちの善い行いを讃える「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」の受賞者・団体を決定しました。

昭和45年から実施していた「熊本県公立学校善行児童生徒表彰」をリニューアルし、対象を広げて表彰することとしたものです。

今年度は、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校から38件の推薦があり、特別賞：11個人・6団体 入賞：16個人・5団体を決定しました。熊本を笑顔にする子供たちの善い行いの一部を御紹介します。

特別賞：山鹿市立三岳小学校

2年 青木 空一さん、浜松 楓華さん、野口 絆笑さん、鹿子木 正海さん、西 響生さん

3年 栗原 彪心さん、西 彫太さん、4年 野口 心羽さん、5年 栗原 心優さん

5年 青木 海一さん、青木 樹一さん、6年 堀江 リリさん、野口 綾羽さん、下村 翔さん

令和4年10月6日(木)、火災が発生したことに気付き、団地の外に備え付けてある複数の消火器を14人の児童らが協力して集め、消火にあたる地域の方のところへ運び、初期消火に協力しました。初期消火が効果的で、火災は早期鎮火したそうです。



特別賞：長洲町立腹栄中学校

2年 馬場 なみさん

あるテレビ番組をきっかけに海のプラスチックごみが問題になっていることを知った馬場さんは、自分にできることが何かないかを考え、中学1年の9月頃から登下校時にごみ拾いを始めました。帰宅後には、拾ったごみの分別まで行っています。



特別賞：熊本県立球磨工業高等学校 カヌー部

1年 馬場泰典さん、池田悠生さん、系原慎之介さん

令和4年5月11日(水)、球磨川付近でカヌーの練習中河川敷で遊んでいた小学生が川に転落。3人は泳いで近づいたり、船で近づいたりして協力し、無事に救出しました。発生から救出までの時間が早く、小学生に怪我等はなかったそうです。



特別賞：熊本県立芦北支援学校 高等部佐敷分教室

平成25年から地域に根差した学校、地域貢献の一環として活動を開始。生徒の皆さんが丹精込めて育てた花苗を御立岬公園内の温泉センターのエントランスや道の駅たのうらなどの花壇に定植。また、花苗の定植後は、御立岬公園の海岸の清掃活動にも精力的に取り組んでいます。



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課 (096-333-2689)

特別賞、入賞者の詳細は、
熊本県教育委員会のHP
で御覧いただけます。





御存じですか？

本県の小・中学校の学力・学習の状況

(令和4年度熊本県学力・学習状況調査の結果より)



昨年12月に、小学校3～6年生と中学校1・2年生を対象に「熊本県学力・学習状況調査」を実施しました。主な結果をお知らせします。

教科に関する調査結果

○ 全国平均正答率を100としたときの各学年・教科の結果

学年	小学3年		小学4年		小学5年		小学6年	
教科区分	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
R4年度	97.4	103.3	101.0	101.3	105.1	107.2	99.2	103.9
R3年度	97.4	101.5	100.9	103.7	101.6	104.9	103.1	106.2

学年	中学1年			中学2年		
教科区分	国語	数学	英語	国語	数学	英語
R4年度	103.7	103.9	100.6	97.7	97.4	93.2
R3年度	100.7	96.8	96.1	99.4	99.9	95.3

全国平均
以上は赤
字、下線は
昨年度より
向上



昨年度と比較して**全国平均を上回る教科が増え、全体として向上**しました。

中学校において、**過去4年間の調査で初めて1年生の全教科が全国平均を上回りました。**

保護者の皆様へ

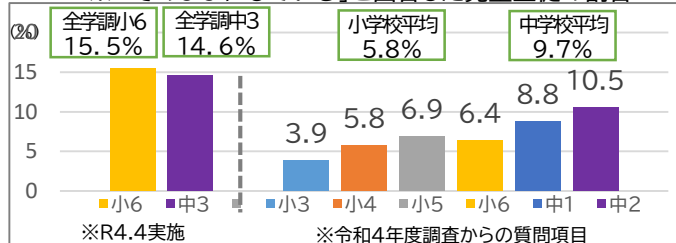


子供たちの伸びやつまずきを把握し、課題克服プリント等を活用して、学びの保障に取り組んでいきます。御家庭でも学校から配付された個人票を確認いただき、家庭学習の頑張りと共に、励ましの声かけをお願いします。

学習や生活習慣に関する質問紙調査結果

○ 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。

※「そのままにしている」と回答した児童生徒の割合



R4.4に実施した全国学力・学習状況調査と比べ、分からないことをそのままにしている児童生徒が減っています。



分からないことがあったら、家族や友達、先生に聞いて解決するぞ！

本調査結果の詳細については、こちらを御覧ください。



御存じですか？

「熊本の学び」アクションプロジェクト

「熊本の学び」の推進を支え、児童生徒の学力向上を目指す取組です。

各学校等での今年度の取組を紹介します。 ※本年度の「ばとん・ばすvol.63 (7月号)」も御参照ください。



子供たち誰一人取り残さない学びの保障に向けて

阿蘇市立一の宮小学校の取組

【定着確認の徹底】

「この計算は、この問題を参考にするといいいね。」



学力充実タイムを設定し、6年生が3年生以上の学級で、下級生の質問に答えるなどの取組をしています。6年生にとっても、理解の確認につながっています。

「そうか、かけ算を使うのか！」

八代市立植柳小学校の取組

【読解力向上の取組】



算数の授業の中で、友達が考えた意見も一つの情報として活用し、それを自分なりに解釈して、自分の意見を考え、発表しています。

「Aさんの意見は〇〇。Bさんの意見は〇〇。私の考え方は…」

先生たち一人一人の授業力向上に向けて

御船町立御船中学校の取組

【校内研修（授業研究会）の工夫】



全職員が公開授業を実施し、授業研究会において、生徒も交えた意見交流を行っています。生徒からの意見は、授業づくりの大きな参考になっています。

「私は、授業の中で、友だちの考えを知ることは、自分の考えをはっきりさせることにつながったと思います。」

「熊本の学び」わくわくサークル

【授業力向上に向けたオンライン研修】



中学校の先生方を対象に、授業の意見交換をしたり、スーパーティーチャーや指導主事から悩み解決のヒントを得たりと、教員同士のつながりづくりにもなっています。

「生徒が『疑問』を持つような導入の工夫が分かりました！」

令和4年度（2022年度）

「熊本の心」優秀作文 決定！

県教育委員会では、児童生徒が、郷土熊本の持つ豊かな自然やその風土が育んできた伝統や文化から学び、郷土に対する愛着を深めるよう、「熊本の心」（助けあい 励ましあい 志高く）の普及・啓発に取り組んでいます。

7月4日～9月16日の期間、県内在住の小・中学生及び高校生以上を対象として、「熊本の心」作文を募集したところ、3,010点の応募がありました。

作文審査の結果、最優秀賞（熊本県教育委員会賞・「熊本の心」推進協議会賞）及び優秀賞（熊本県文化協会賞・熊本公徳会賞・熊本日日新聞社賞・熊本県地域婦人会連絡協議会賞・熊本県PTA連合会賞）が決定しました。

「熊本の心」優秀作文表彰式



熊本県教育委員会賞を受賞した濱武大輝さん（右）



上段：各団体の授与者
下段：被表彰者7名



「熊本の心」推進協議会賞を受賞した川野逞さん（右）

1 最優秀賞

賞の種類	氏 名	学 校 名	学年	作 文 題
熊本県教育委員会賞	（はまたけ たいき） 濱武 大輝さん	山鹿市立大道小学校	6	灯ろうの心を受け継ぐ
「熊本の心」推進協議会賞	（かわの たくま） 川野 逞さん	山鹿市立鹿本中学校	1	じいちゃんを負けてない

2 優秀賞

賞の種類	氏 名	学 校 名	学年	作 文 題
熊本県文化協会賞	（よしだ りょうま） 吉田 僚真さん	宇城市立三角中学校	3	挫折を乗り越えて
熊本公徳会賞	（くろき さくら） 黒木 咲良さん	熊本県立芦北高等学校	2	自分と向き合う
熊本日日新聞社賞	（せざぎ あんじゅ） 瀬崎 杏樹さん	熊本県立八代清流高等学校	1	みんなの力を合わせれば
熊本県地域婦人会連絡協議会賞	（たぐち たいせい） 田口 大晴さん	芦北町立佐敷小学校	1	「ぼくのかぞく」をよんで
熊本県PTA連合会賞	（みやはら るな） 宮原 瑠菜さん	あさぎり町立あさぎり中学校	1	「植林人生」を読んで

表彰者の作文は、熊本県教育委員会のHP(令和4年度『熊本の心』優秀作文)で御覧いただけます。

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/158001.html>

この記事に関する問い合わせ先：社会教育課（096-333-2697）



開館20周年

歴史公園鞠智城

入城者数200万人突破★



令和5年(2023年)1月7日(土曜日)、歴史公園鞠智城の入城者が200万人を突破しました。200万人目のお客さまは、熊本市から来られた御家族でした。記念として、長谷部温故創生館長から認定証を、ころう君から記念品を渡しました。

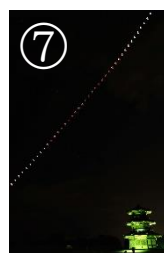
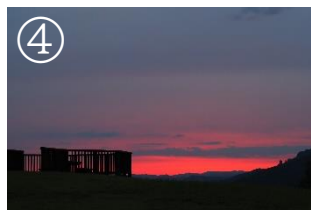
←200万人目の入城者:御家族で御登城!でした。

第8回鞠智城フォトコンテスト

入賞8作品が決定★

歴史公園鞠智城・温故創生館では、第8回鞠智城フォトコンテストを開催し、8月1日～12月24日の期間、72作品の応募がありました。

写真の専門家である外部審査員を交えて選考し、グランプリ1点、鞠智城賞2点、特別賞5点の計8点の入賞作品を決定しました。入賞作品は、5月末まで温故創生館2階で展示しています。



温故創生館で
展示中コロ!



①グランプリ 「家族 ～いつの時代も大切な存在～」(一木 康さん)

②鞠智城賞 「夕刻の語り合」(北村 幸雄さん) ③鞠智城賞 「晩秋の鞠智城」(蔵原 松三さん)

④特別賞 「朱に染まる時」(山野 修一さん) ⑤特別賞 「新月の夜(天の川)」(蓑田きみ子さん)

⑥特別賞 「田植え準備」(兼平 進さん) ⑦特別賞 「鼓楼を跨ぐ天空ショー」(川久保 俊朗さん)

⑧特別賞 「素弁蓮華文の巴瓦」(松本 竜馬さん)

※②・③及び④～⑧については、順不同です

この記事に関する問い合わせ先：歴史公園鞠智城・温故創生館 (0968-48-3178)

熊本地震被災文化財情報発信出前授業 ～延べ79校、約4,100人が参加～

県教育委員会では、平成28年熊本地震で被災した文化財の復旧の様子について伝え、子供たちが文化財の大切さについて学び・考える授業を、平成30年度から実施しています。

平成30年度から令和5年2月末までに参加した小・中学校は延べ79校で、参加人数は約4,100人にのぼります。出前授業の実施前は約6割だった文化財への関心が、実施後は約9割の子供たちにおいて関心が高まったというアンケート結果が出ています。

熊本地震で被災した文化財の復旧や、各地域の文化財を後世に語り継ぐ担い手たちを、これからも育ていけるよう活動していきます。令和5年度も実施予定ですので、たくさんの御参加をお待ちしております。

授業の様子



自分の家の近くにも文化財があるなんて知らなかった！



授業のながれ

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| はじめ | 1 熊本地震の被害について振り返る |
| 中 | 2 被災した文化財の被災状況と復旧に向けた取組について知る |
| 中 | 3 学芸員の説明を聞き、自分たちの地域の文化財について理解を深める |
| おわり | 4 文化財の復旧や保存の必要性について考える |

この記事に関する問い合わせ先：文化課（096-333-2707）

すこやか子育て電話相談



「子育ての悩み」を
話してみませんか？

すこやか子育て電話相談カード



家庭教育に関する悩みや不安を抱える保護者等の方々がいつでも相談できるよう、夜間及び土曜日に電話相談員を配置しています。

【電話相談の受付時間は…】

- ◆月曜日～金曜日 17時～21時
- ◆土曜日 13時～17時

※日曜・祝日・年末年始と8月13日～15日を除きます。

この記事に関する問合せ先：社会教育課（096-333-2697）

令和4年度(2022年度)人権教育の指導方法等の工夫・改善実践協力校の取組



県教育委員会では、「人権教育の指導方法等の工夫・改善パンフレット『実践行動につなぐ』3つのアプローチ」を基に、自他の人権を大切にする実践行動のできる児童生徒の育成に取り組む実践協力校(3校)を指定しています。今年度の取組の一部を紹介します。

湯前町立湯前小学校



【4年生の授業風景】

授業組立シートでねらいの明確化

授業者は、構想メモを基に、ねらいや工夫点を明確にした授業組立シートを作成しました。「自分のこととして考えさせる工夫」などに取り組むことで、授業の充実を図りました。

上天草市立今津小学校



【人権集会で伝える6年生】

学校生活につなぐ取組

人権学習の学びを学校生活につなぐ取組を各学級や学校全体で行いました。6年生は、下級生の身近なロールモデルとして人権集会で学んだことを伝えました。

湯前町立湯前中学校



【教職員による単元配列表の作成】

単元配列表での カリキュラムマネジメント

教科等横断的に年間を通じた指導の見通しを立てるため、単元配列表を作成しました。この表を基に人権教育の実践、評価、改善に取り組みました。

実践協力校の様々な工夫・改善の取組は、ホームページに掲載する予定です。

この記事に関する問い合わせ先:人権同和教育課(096-333-2702)



国際バカロレア (IB) って何? ④

■国際バカロレアとは...

- ・国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する、グローバル人材の育成を目指した国際的な教育プログラムです。
- ・急速に進むグローバル社会を生き抜く上で、学び、そして働き続けるために必要な知性、人格、情緒、そして社会的なスキルを身につけることができます。

○国際バカロレアの教育プログラム

PYP

プライマリー・イヤーズ・プログラム

対象:3~12歳。

幼稚園、小学校で導入されています。

MYP

ミドル・イヤーズ・プログラム

対象:11~16歳。

中学校で導入されています。

DP

ディプロマ・プログラム

対象:16~19歳。

高等学校で導入されています。



※上記の他にキャリア関連プログラム(CP)が設定されています。

【参考】文部科学省IB教育推進コンソーシアムHP



県立八代中学校・八代高等学校

県教育委員会では、現在、令和6年度から県立八代中学校でのMYPの試行開始、令和9年度から八代高校へのDP導入を目指して取り組んでいます。

OIB啓発セミナー(第2回)を開催しました。

令和4年12月17日(土)、県立八代中学校・八代高校でIB啓発セミナー(第2回)を開催しました。模擬授業では、小学4・5年生31名が、MYP1年生で扱う内容について、考えたり、話し合ったりしながら、楽しんで授業を体験することができました。

●数学の模擬授業の内容

「21ゲームをやってみよう!」

1. 1から21までの数字が書かれたカードを1から順番にペアで交互に取っていく。
2. 最後に21のカードを取った人が負け。
3. 一度に取れるカードは最大3枚。

どうすれば勝てるのかな?
勝つためのパターンがあるのかな?



この記事に関する問い合わせ先:高校教育課高校魅力化推進室(096-333-2684)

子供の「将来」につながる学びの実現へ

～ GIGAスクール構想の今 ～

県教育委員会では、1人1台のタブレットパソコン等を活用したICT教育を、小・中学校だけでなく、県立学校（高等学校・特別支援学校・県立中学校）でも推進しています。子供の将来を見据え、ICTを日常的に活用しながら進んで自ら学ぶ姿を目指していきます。

主に県立高校で展開されている学び



1人1台端末（クロームブック）を生徒が日常的に活用

Google Workspace for Educationを利用

- ✓ 1人1アカウントを自分で管理・活用
- ✓ クラウドに個人のデータを管理・活用
- ✓ ドキュメント・スプレッドシート・スライド（office系アプリ）等の汎用的アプリを日常的に活用
- ✓ クラウドでデータを共有・共同編集
- ✓ 日常的な持ち帰り

※県立特別支援学校はiPad・Windows端末を導入

県立熊本西高校が

「Google 事例校」に

Googleのシステムを活用し、革新的な環境づくりに取り組んでいる「Google事例校」に県立熊本西高校が選定されました。今後、同社と連携し様々な取組みを進めていく予定です。



県立熊本西高等学校
栗谷校長

県立芦北高校がGoogle日本本社を訪問

Google事例校でもある県立芦北高校の生徒が、修学旅行で東京都渋谷区にある「グーグル合同会社」を訪問し、オフィスツアーに参加しました。



県立芦北高校の生徒が
社内を見学する様子

「くまもとICTコンテスト（ICT活用コンテスト：県教委主催）」の優秀作品が決定

●プレゼンテーション部門（児童生徒対象）最優秀賞のみ掲載●

【小学校中学年】「次の授業が分かる方法はないかな？」
（高森町立高森中央小学校4年生）

【中学校】「氷川町の良さを小学生に伝えよう！（イグサ）」
（氷川町立竜北中学校2年生）

【小学校高学年】「わたしたちにできること」
（南関町立南関第三小学校6年生）

【高等学校】「八代工業高校×八代市役所 フォトブースプロジェクト」
（県立八代工業高等学校3年生）

●ICT活用指導部門（教職員対象）最優秀賞のみ掲載●

【授業でのICT活用】「能動的に学び続ける児童の育成」（高森中央小学校：小林翼教諭）

【校務でのICT活用】「職員室をアップデートする校務の情報化～業務負担を軽減するICT活用～」（維和中学校：安部拓哉教諭）

【その他（教科外活動等でのICT活用）】

「西部小版タイピング検定の実践～ICT活用を支えるタイピング力向上の取組～」（竜北西部小学校：坂本稔教諭）

同時開催の
Dx-NEXT 夢
コンテスト結果は
こちら



学校情報化優良校の認定取得数：**358校**（市町村立学校**303校**、県立学校**55校**）

【12月～1月に学校情報化優良校の認定を受けた学校】*2/13までに取得が公表された学校を紹介

上天草市立大矢野中学校（12/13）

県立岱志高等学校（12/25）

天草市立御所浦小学校（12/26）

八代市立坂本中学校（12/26）

上天草市立上小学校（12/28）

県立熊本高等学校（12/30）

宇城市立豊福小学校（1/4）

水俣市立袋小学校（1/4）

天草市立栖本小学校（1/13）

県立熊本商業高等学校（1/18）

県立北稜高等学校（1/22）

水俣市立水東小学校（1/25）

和水町立三加和中学校（12/18）

上天草市立松島中学校（12/25）

上天草市立龍ヶ岳中学校（12/26）

上天草市立龍ヶ岳小学校（12/28）

県立松橋高等学校（12/28）

県立八代農業高等学校泉分校（1/4）

天草市立牛深中学校（1/4）

県立小国支援学校（1/4）

天草市立本渡東小学校（1/13）

宇城市立走湯小学校（1/20）

県立牛深高等学校（1/22）

県立芦北支援学校（12/24）

上天草市立教良木小学校（12/25）

天草市立本渡北小学校（12/26）

上天草市立姫戸小学校（12/28）

御船町立木倉小学校（12/30）

上天草市立阿村小学校（1/4）

宇城市立不知火中学校（1/4）

天草市立亀川小学校（1/13）

荒尾市立有明小学校（1/17）

宇土市立網田中学校（1/20）

県立甲佐高等学校（1/23）

これまでの取得状況等は専用サイト

「くまもとGIGAスクールプロジェクト特設応援サイト」に掲載

<https://sites.google.com/g.bears.ed.jp/kumamotogiga>



この記事に関する問い合わせ先
教育情報化推進室（096-333-2673）



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

熊本県立美術館

家庭でも
学校でも
楽しめるよ！

～遊んで学ぶ鑑賞活動をめざして～ 「熊本県立美術館アートカード」が完成しました！



「熊本県立美術館アートカード」とは・・・

美術鑑賞をもっと気軽に楽しめるよう、鑑賞教材「アートカード」を作成しました。この「アートカード」は、子供たちが遊びを通して鑑賞を深め、家庭や学校で楽しく美術作品に親しみながら、観察力・思考力・想像力を育てるものです。また、ゲームの中で作品について対話することで、言語活動が活発になり、コミュニケーション能力も高まります。

アートカードセットには、50枚の作品カードとガイドブックが付いています。ガイドには、作品解説やゲームのルールを掲載。県立第二高等学校美術科生徒作の4コママンガで使い方を分かりやすくまとめています。



アートカードゲーム① 「わたしの正体は・・・」



©熊本県美術館2022

美術館での活用

家族向けイベント「かぞくでアート☆」にて、アートカードを使った鑑賞ワークショップを実施。ゲームを通して鑑賞について学んだ後、実物の作品を鑑賞しました。

多様な視点から観察する子供たちの感性の豊かさにはワークショップの度に驚かされます。



学校等での活用例

来館前の事前学習として活用。事前の学びが作品との距離を縮め、実際の作品を前に友人同士お互い対話しながら、鑑賞を深め合う様子が見られました。
(熊本大学教育学部附属特別支援学校)



教職員研修での活用 (県立教育センター)



◆◆御家庭向け◆◆

○アート鑑賞ワークショップ「かぞくでアート☆」

開催予定日：令和5年5月5日、6月18日、12月17日

※事前申込制。詳細については、イベント日1カ月前をめどに当館HPにてお知らせします。
その他のイベントも開催中。

◆◆学校向け◆◆

○「アートカード・セット」貸出 ○教員向け研修
○学校内研修出前講座 ○関連教材提供

「アートカード・セット」は、熊本県立美術館にて販売しています。
学校へは無料貸出も行います。詳細は、当館ホームページを御覧ください！



←関連教材「学芸員体験キット」HPからダウンロードしてお使いください



熊本県立美術館HP

この記事に関する問い合わせ先：熊本県立美術館（096-352-2111）

今後の取組